

大崎公園（指定管理者：株式会社ワールドインテック、評価機関：株式会社ブレインファーム）訪問調査日：令和7年11月19日

スポーツ施設 評価結果一覧表

評価項目	指定管理者自己評価結果	評価機関評価結果
I. 総則		
1. 施設の目的に基づいた基本方針の確立	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立されており、職員が理解しているか。	A B
2. 施設目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設目的を達成できているか。	/
3. 従事者の勤務実績・配置状況	管理職を含む常勤従事者及び非常勤従事者の勤務実績、配置状況は適切か。	A A
4. 従事者のマナー	利用者が気持ちよく利用できるよう、利用者に対する従事者の接客マナーは適切か。	A A
5. 施設の設置目的を実現するために必要な人材の育成・研修	施設の設置目的を実現するために必要な人材を育成する取組がなされているか。	A A
II. 施設・設備の維持管理		
1. 建物（野球場・サッカー場・テニスコート等の屋外競技施設を含む）・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理され、安全性の確保及び良好な機能の保持が実現されているか。	A A
2. 備品の管理	施設の備品が適切に管理されているか。	B A
3. 清掃業務、植栽・樹木等の維持管理業務	利用者が快適に利用できるよう、清掃が行き届いているか。施設周りの植栽・樹木等が適切に管理され、利用者が快適に過ごせるような良好な景観が保たれているか。	A A
4. 警備業務	安全で安心感のある環境を確保しているか。	A A
5. プール施設の衛生管理業務	プール施設の衛生管理業務が適切に実施され、利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。	/
6. 浴室衛生管理業務	公衆浴場に関する法令を遵守し、利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。	/
7. 施設衛生管理業務	施設の衛生管理や感染症対策を適切に行っているか。	A A
III. 運営業務及びサービスの質の向上		
1. 利用実績及び施設の稼働率	評価実施直前の2年間の施設稼働率及び利用実績の推移につき、半期毎（4月から9月、及び10月から3月）の状況を確認する。	/
2. 利用しやすい受付案内の実施	利用者が利用しやすい受付案内を実施しているか。	A A
3. 適切な利用情報の提供	すべての利用者が等しく利用情報を得ることができるよう、適切な利用情報の提供を行っているか。	A A
4. サービス水準の確保	個々のサービスについて、対応従事者によって格差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取組を行っているか。	A A
5. 従事者間での情報共有化	従事者間で、適切に各種情報の共有化が実現されているか。	A A
6. 個人情報保護の確保	個人情報保護の確保に対する体制が整っているか。	A A
7. 事故防止対策への取組	事故防止のための体制の構築・取組を行っているか。	A A
8. 事故発生時の対応体制の構築	事故発生時の対応体制が確立されているか。	A A
9. 災害発生時の対応体制の構築	災害発生時の対応体制が確立されているか。	A A
10. 利用者の意見・苦情を速く受け、解決する体制の構築	利用者が意見や苦情を述べやすい環境を整備しているか。利用者の意見や苦情を受けて、迅速に対応できる体制を構築しているか。	A B
11. 利用者アンケートの実施	サービス全体に対する利用者の満足度を把握し、課題がある場合には対応策を講じているか。	A B
12. 自主事業の適切な実施	利用者の望む自主事業を適切に実施しているか。	A A
13. スポーツ教室事業等の適切な実施	利用者のニーズをくみ取り、スポーツ教室事業を実施しているか。	/
IV. 地域及び地域住民との連携		
1. 地域や地域住民との交流・連携の取組	地域や地域住民との交流・連携に関する取組を実施し、地域交流の支援を実施しているか。	B B
V. 収支状況		
1. 管理経費（指定管理料）等の執行状況	管理経費（指定管理料）は適正に執行されているか。	A A
2. 収支決算状況	予算と決算に大幅な相違がないか。収入－支出がプラスになっているか。	+ +
3. 利用料金収入実績	事業計画書等で示した利用料金収入の目標値がどの程度達成されているか。	0.07%
4. 経費削減の取組	経費削減のための努力を行っているか。	実施 実施

項目	指定管理者自己評価	第三者評価機関特記事項
I. 総則	大崎公園の設置目的を理解意識し、利用者サービス向上を目指し、しっかりと取り組んでいると考える。2年目を以降に向け更なる向上を図りたい。	従業者は施設の目的・方針を理解しており、とくにアニマルウェルフェアや動物介在教育に関する高い意識を持っています。対応に関しては、動物飼育員の名前の示し方を今後ご検討ください。
II. 施設・設備の維持管理	引継ぎ時からの未履行事項や老朽化による新たな不具合が発生していく中で内製化も含め予算以上に実施できている。安全安心と清潔感を確保したい。	遊具を含め施設設備に目に見える損傷はなく施設内の美観が保たれています。樹木の根による舗装や施設設備への影響が生じているため対応の検討を引き続き実施する必要があります。
III. 運営業務及びサービスの質の向上	大崎公園の施設特徴（子供動物園、ジャブジャブ池など）を活かした管理運営に努めている。残り4年で更なる魅力を生み出していきたい。	HP や SNS で施設情報やイベント情報の発信が積極的に行われています。施設内の案内として、園内の地図での管理事務所や事務所の看板等が目立ちにくいよう分かりやすい掲示や案内を検討ください。
IV. 地域及び地域住民との連携	地域の関連団体との連携はできたが、地域住民との連携の強化が課題と考える。「まのえん」との連携も強化し改善していきたい。	今後は、多様な地域団体との交流や二重の把握が望まれます。
V. 収支状況	応募時に想定していた以上の人件費の高騰、物価上昇、修繕箇所と費用上昇となっている。業務の効率化により収支を合わせていきたい。	簡易な作業等の内製化対応による経費削減の取り組みが見られます。
VI. その他	さき山を含め基幹となる管理事務所の環境整備が利用者サービス向上のためにも課題である。自主事業利益の還元などで対応していきたい。	

評価結果についての講評

動物園に関する自主事業では工夫の凝らした企画により、動物と触れ合い、動物について楽しく学ぶことのできるイベント/教育プログラムを提供されており、集客力の高さに繋がっていることは高く評価できます。一方で、飼育員の名前の示し方、園内での管理事務所のわかりやすい案内掲示、樹木の根による舗装への影響等に関しては、改善・検討を進めていただくことを期待します。

指定管理者からの意見

施設の状況把握を踏まえ内製にて対応可能な施設管理業務については積極的に内製で実施、コスト削減および早期対応を図っています。

一方で公園の成熟化に伴い、管理および利用サービスの向上に向けた新たな仕掛けが求められていることから、動物福祉の考え方が十分に浸透していない時期に建設された施設である点も踏まえ、ハード面における施設の在り方については今後の大きな課題として取り組んでまいります。今後はアンケート集計結果等の分析を踏まえ、利用者ニーズに即したイベントの企画・実施を図ることで、より質の高いサービスの提供に努めます。